

新宿御苑でみられるハチ15選

新宿御苑で見られるハチの多くはおとなしい種類です。花の受粉を助けたり、虫を食べたりして、自然を支える大切な生きものです。気をつけるハチを見かけたら、近づきすぎず、そっと見守りましょう。

⚠ …注意するハチ

Q …女王バチ

W …働きバチ

キイロスズメバチ
スズメバチ科



全体的に黄色が目立つ

Q…25～28mm
W…17～24mm



モンスズメバチ
スズメバチ科



夜にも活動する

Q…25～28mm
W…19～24mm



腹の線が波模様

チャイロスズメバチ
スズメバチ科



他のスズメバチの巣を乗っ取る

Q…27～29mm
W…17～21mm



全体的に茶褐色

クロスズメバチ
スズメバチ科



小さいが大きな群れで暮らす

Q…15～17mm
W…10～12mm



体が黒で腹の線が白色
頭にも白い模様

セグロアシナガバチ
スズメバチ科



アシナガバチの中で最も大きい

W…20～26mm



フタモンアシナガバチ
スズメバチ科



農作物を食べる害虫を食べる

W…14～18mm



腹に二つ丸い模様がある

エントツドロバチ
スズメバチ科



出入口が煙突状の巣をつくる

16～20mm



体が黒で腹に2本の
橙色の線がある

セイヨウミツバチ
ミツバチ科



はちみつのために西洋から持ち込まれた

Q…17～20mm
W…12～13mm



ニホンミツバチに比べて体が黄色

クマバチ
ミツバチ科



ずんぐりむっくりで大きいのが大人しい

約23mm



胸は黄色いモフモフ

クロマルハナバチ
ミツバチ科



モグラの穴などに巣をつくる

Q…19～23mm
W…12～19mm



体全体が毛でモフモフ

ニッポンヒゲナガハナバチ
ミツバチ科



オスの長い触覚が名前の由来

12～14mm



メスは触角が短く西洋ミツバチに似る

キンケハラナガツチバチ
ツチバチ科



コガネムシの幼虫に卵を産み付ける

16～27mm



腹が長い

クロアナバチ
アナバチ科



コオロギなどを捕獲して卵を産み付ける

22～30mm

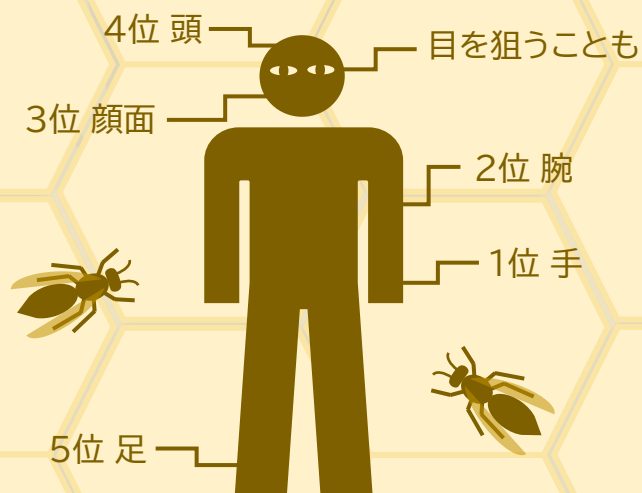


体は黒く頭や胸の側面に白い毛

ハチに刺されないために気を付けるポイント

ハチは巣に近づくものや自分に危害を加えるものが現れると、攻撃してきます。注意をして散策をしましょう。

ハチに刺されやすいところ

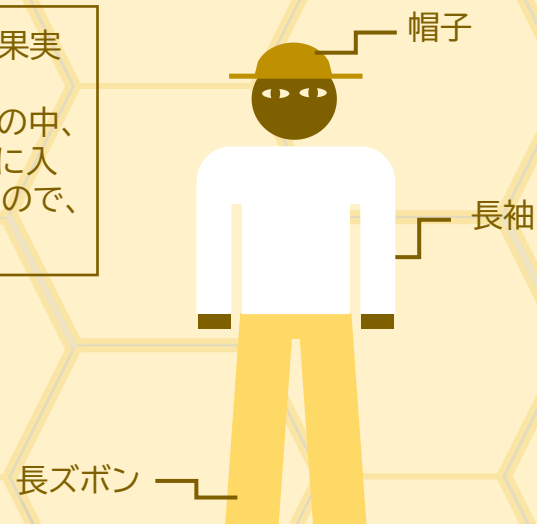


ハチの巣に近づいたり、手で払うと、興奮して攻撃的になります。また黒色、毛皮やひらひらするもの、整髪剤や香水などの強い香りがハチを刺激します。

※新宿御苑では、スズメバチ被害防止のため、ハチトラップの設置や巣の駆除などの安全管理に取り組んでいます。

ハチに刺されないために

ハチは樹液や熟した果実によく集まります。ジュースの容器や服の中、脱いだ靴、荷物の中に入り込む可能性があるので、注意をしましょう。



ハチはゆっくりした動きや静止しているものは判別できません。見かけたときは静かに離れましょう。白や黄色の明るい色も判別できないので、服装に取り入れると安全です。

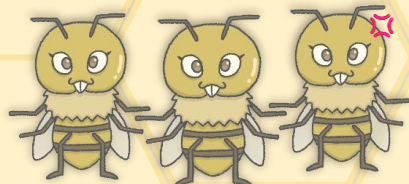
ニホンミツバチのひみつを知らう！

人間と同じ？集団で暮らすミツバチ

ハチは「社会性昆虫」と呼ばれ、人間社会のようにそれぞれが役割を果たしながら集団生活をしています。



女王バチ
他の巣のオスバチと交尾し、たくさん子どもを産む。



働きバチ(全員メス)
幼虫のお世話や餌の調達、巣を外敵から守る。



オスのハチ
女王バチとの交尾以外やる事が無く、働きバチから餌をもらう。

ハチのお引越し

巣がハチでいっぱいになると、古い女王バチは、働きバチの半分を引き連れ、新しい巣へと旅立つ「分蜂」を行います。

引っ越しの途中で、ハチたちは木や壁などに待機して蜂球を作ります。その間に働きバチが引っ越し場所を探し、見つかると一斉に動きます。

引っ越し前にたっぴりとハチミツを飲んで行動するため、この時の働きバチのお腹はパンパンに膨れています。



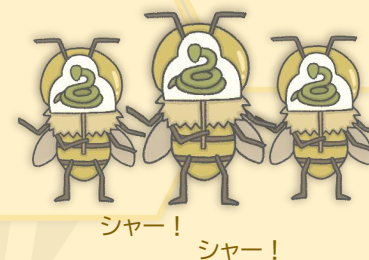
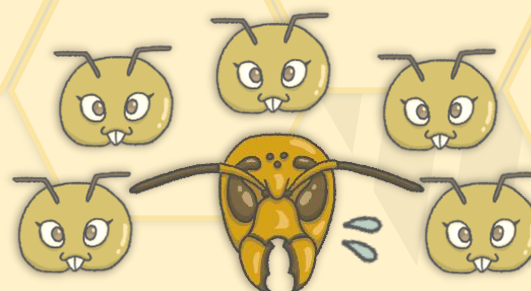
写真：新宿御苑2026年

高度なコミュニケーション能力と団結力

働きバチは蜜や花粉などエサのある場所を発見すると、巣に戻って仲間たちに8の字に歩いてその場所を伝えます。体と太陽の角度から方角、翅を鳴らす長さで距離を伝えます。

巣をスズメバチに襲撃されると、ニホンミツバチは団結して戦います。集団でスズメバチを囲んで、翅を震わせて46度以上の熱を発生させて殺します。これを「熱殺蜂球」と呼びます。

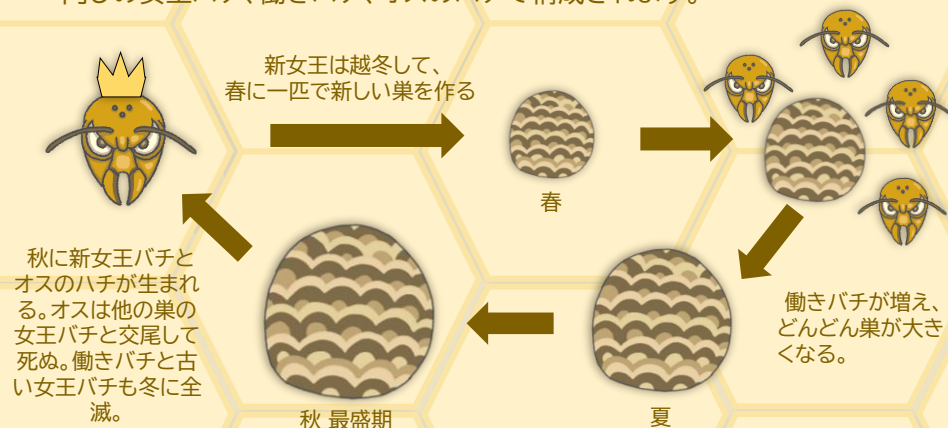
「熱殺蜂球」以外にも音で外敵を撃退します。外敵が巣に近づくと、ヘビの威嚇音「シャーシャ」という音を翅を震わせて集団で鳴らします。



オオスズメバチのひみつについて知ろう！

オオスズメバチの一生

オオスズメバチも「社会性昆虫」で、集団生活をします。役割がミツバチと同じの女王バチ、働きバチ、オスのハチで構成されます。



オオスズメバチのすごい能力

なんといっても、一番恐ろしいのは毒針。毒は様々な物質がカクテル状になっており、神経の働きを妨げるもの、筋肉や臓器の働きをとめるもの、赤血球を破壊する物質が混ざっています。



ミツバチと違って何回でも刺せるわ

あごがとても発達していて、獲物を噛み砕きます。硬い体のコガネムシ、最強のハンターのカマキリ、他の種類のスズメバチも襲います。一匹で数万匹のミツバチの巣を全滅させることも。



ケガするわよ

危険だけど必要な存在？

人からは危険な存在として恐れられていますが、自然界にはなくてはならない存在です。オオスズメバチがいない小笠原諸島では養蜂用に持ち込んだセイヨウミツバチが野生化し、島の生態系を脅かしています。他の場所でもセイヨウミツバチの養蜂を行っています。オオスズメバチが狩ってくれることで野生化を防ぎ、生態系を守ってくれています。他にも樹木を荒らす毛虫などを狩ることで被害を減らしてくれています。



セイヨウミツバチ

昆虫の王様カブトムシもオオスズメバチには適いません。脚を噛みちぎられて木から落とされてしまいます。そのためカブトムシはオオスズメバチを恐れ、夜に活動をします。



ヤツはもういないよな...